

解析学 I レポート問題 解答例

1 方程式 $x^2 = 2$ は \mathbb{Q} の範囲で解をもたないことに注意したい。

(D1) $0 \in A_1$, $2 \in A_2$ であるから, $A_1 \neq \emptyset$, $A_2 \neq \emptyset$ である. 定義より, $A_1 \cup A_2 = \mathbb{Q}$ である. また, $A_1 \cap A_2$ の要素は, 有理数であり, 方程式 $x^2 = 2$ をみたさなければならないので, $A_1 \cap A_2 = \emptyset$ である.

(D2) $a \in A_1$, $b \in A_2$ を任意にとる. (i) $a < 0$ のときには, $b \geq 0$ より $a < b$ である. (ii) $a \geq 0$ のときには, $a^2 < 2 < b^2$ より $a < b$ となる.

以上より, (A_1, A_2) は \mathbb{Q} の切断である.

$a = \max A_1$ が存在したとする. $1 \in A_1$ より $a \geq 1$, $a^2 \leq 2$ である. $a^2 < 2$ のときには,

$$h = \frac{2 - a^2}{2a + 1}$$

とおくと, $0 < h < 1$ であり,

$$(a + h)^2 - 2 = a^2 - 2 + 2ah + h^2 \leq a^2 - 2 + (2a + 1)h = 0$$

より $a + h \in A_1$ となり, a が A_1 の最大要素であること反する. したがって, $a \in \mathbb{Q}$ は $a^2 = 2$ をみたさなければならない. 方程式 $x^2 = 2$ は \mathbb{Q} の範囲で解をもたないので矛盾である. したがって, $\max A_1$ は存在しない.

$a = \min A_2$ が存在したとする. このとき, $a \geq 0$, $a^2 \geq 2$ である. $a^2 > 2$ のときには,

$$h = \frac{a^2 - 2}{2a}$$

とおくと,

$$a - h = \frac{a^2 + 2}{2a} > 0, \quad (a - h)^2 - 2 = a^2 - 2 - 2ah + h^2 = h^2 > 0$$

より $a - h \in A_2$ となり, a が A_2 の最小要素であること反する. したがって, $a \in \mathbb{Q}$ は $a^2 = 2$ をみたさなければならない. 方程式 $x^2 = 2$ は \mathbb{Q} の範囲で解をもたないので矛盾である. したがって, $\min A_2$ は存在しない.

2 (A_1, A_2) , (B_1, B_2) , (C_1, C_2) を \mathbb{Q} の切断とする.

(i) $A_1 \subset B_1$ より $(A_1, A_2) \leq (B_1, B_2)$ である.

(ii) $(A_1, A_2) \leq (B_1, B_2)$ かつ $(B_1, B_2) \leq (A_1, A_2)$ とする. 定義より $A_1 \subset B_1$, $B_1 \subset A_1$ となり, $A_1 = B_1$ である. (A_1, A_2) , (B_1, B_2) は \mathbb{Q} の切断であるから,

$$A_2 = \mathbb{Q} \setminus A_1 = \mathbb{Q} \setminus B_1 = B_2$$

である. したがって, $(A_1, A_2) = (B_1, B_2)$ である.

(iii) $(A_1, A_2) \leq (B_1, B_2)$ かつ $(B_1, B_2) \leq (C_1, C_2)$ とする. 定義より $A_1 \subset B_1$, $B_1 \subset C_1$ となり, $A_1 \subset C_1$ である. したがって, $(A_1, A_2) \leq (C_1, C_2)$ である.

以上より、二項関係 \leq は (半) 順序関係である。

$(A_1, A_2), (B_1, B_2)$ を \mathbb{Q} の任意の切断とする。 $A_1 \not\subset B_1$ とする。このとき、 $a \in A_1, a \notin B_1$ となる $a \in \mathbb{Q}$ が存在する。切断の定義とその性質より、 $a \in B_2$ であり、すべての $b \in B_1 \subset \mathbb{Q}$ に対して $b < a$ であるから、 $b \in A_1$ である。つまり、 $B_1 \subset A_1$ である。 \mathbb{Q} の任意の切断 $(A_1, A_2), (B_1, B_2)$ に対して、 $(A_1, A_2) \leq (B_1, B_2)$ または $(B_1, B_2) \leq (A_1, A_2)$ のいずれかが成り立つので、 \leq は全順序関係である。

3 $x \in \mathbb{R}$ を超えない最大の整数を $[x]$ と表すことにする。任意に $\varepsilon > 0$ をとり、 $n_0 = [1/\varepsilon] + 1$ とおく。 $n_0 > 1/\varepsilon$ であるから、 $n \geq n_0$ をみたすすべての $n \in \mathbb{N}$ に対して

$$\left| \frac{1+2n}{1+n} - 2 \right| = \frac{1}{1+n} < \frac{1}{n} \leq \frac{1}{n_0} < \varepsilon$$

となり、命題

$$\forall \varepsilon > 0 \exists n_0 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} \left(n \geq n_0 \implies \left| \frac{1+2n}{1+n} - 2 \right| < \varepsilon \right)$$

が成り立つ。したがって、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1+2n}{1+n} = 2$$

である。

4 数列 $\{a_n\}, \{b_n\}$ は収束するので有界である。したがって、ある $M \geq 0$ が存在して、 $|a| \leq M, |b| \leq M$ であり、すべての $n \in \mathbb{N}$ に対して $|a_n| \leq M, |b_n| \leq M$ が成り立つ。このとき、一般性を失うことなく、 $M \geq 1$ と仮定してよい。極限の定義より、命題

$$\begin{aligned} \forall \varepsilon > 0 \exists n_1 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} \left(n \geq n_1 \implies |a_n - a| < \frac{\varepsilon}{2M} \right), \\ \forall \varepsilon > 0 \exists n_2 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} \left(n \geq n_2 \implies |b_n - b| < \frac{\varepsilon}{2M} \right) \end{aligned}$$

が成り立つ。 $n_0 = \max(n_1, n_2)$ とおくと、すべての $n \geq n_0$ に対して、

$$|a_n - a| < \frac{\varepsilon}{2M}, \quad |b_n - b| < \frac{\varepsilon}{2M}$$

であるから、三角不等式より

$$\begin{aligned} |(a_n + b_n) - (a + b)| &\leq |a_n - a| + |b_n - b| < \frac{\varepsilon}{M} < \varepsilon, \\ |a_n b_n - a b| &\leq |(a_n - a) b_n| + |a (b_n - b)| \leq \frac{\varepsilon |b_n|}{2M} + \frac{\varepsilon |a|}{2M} < \varepsilon \end{aligned}$$

が得られる。命題

$$\begin{aligned} \forall \varepsilon > 0 \exists n_0 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} \left(n \geq n_0 \implies |(a_n + b_n) - (a + b)| < \varepsilon \right), \\ \forall \varepsilon > 0 \exists n_0 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} \left(n \geq n_0 \implies |a_n b_n - a b| < \varepsilon \right) \end{aligned}$$

が成り立つので,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} (a_n + b_n) = a + b, \quad \lim_{n \rightarrow \infty} a_n b_n = a b$$

である.